おごおり

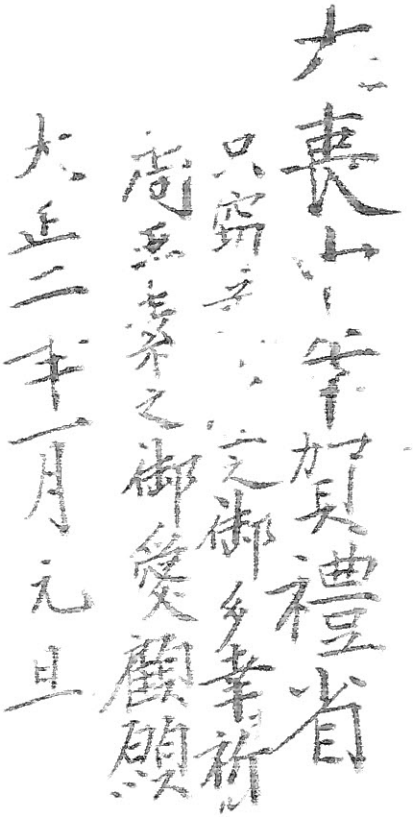
第４０４号

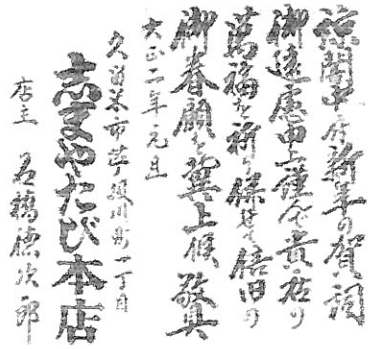
日本郵趣協会　小郡支部

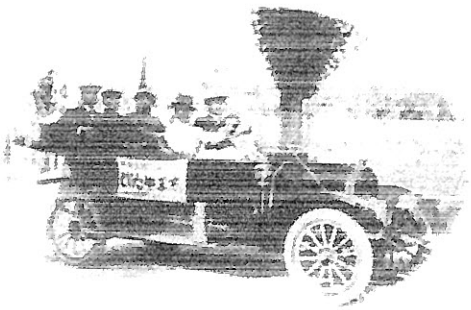
第３３巻１１号　２０２３．１１．１

年　賀　状

大正２年







第３銭（暗い赤紫）貼り　久留米２．１．１消し

コレクション拝見

年賀郵便・大正時代

中嶋克己

明治45年7月30日明治天皇崩御により大正と改元され、大正2年の年賀は国を挙げての自粛となりましたが稀に平年並みの賀状もありますし遠慮しながら賀詞を述べたはがきは多数残っています。

大正3年は、分銅銘ありはがきに櫛型印多く、満・奉天消しや、桜4銭連合はがきのアメリカあて櫛型印、菊3銭赤切手貼りと田沢型3銭貼り年賀書状に櫛型印。更に、菊2切手銭貼り（低料金）封。

大正4年　分銅銘ありはがきに櫛型印が多く、朝鮮型櫛型印あり、田沢型1銭＋5厘の2枚貼り私葉と軍事郵便葉書。

大正5年　分銅銘ありはがきに櫛型印と朝鮮型櫛型印、分銅（青）銘ありはがきに櫛型印と朝鮮型櫛型印および田沢型1銭5厘貼り。樺太の丸二型印と大正大礼記念切手1銭5厘切手に櫛型印。

大正6年　分銅（青）銘ありはがきに櫛型印。田沢型大正毛紙1・5銭貼り台湾型印消しと関東州型機械消印の2種。

大正7年　分銅（青）銘ありはがきに櫛型印と初めて使用された機械年賀印の平川式元祖印に林式印。および青島野戦局印の軍事郵便。

大正8年　分銅（青）銘ありはがきに櫛型印と同はがきの支那字入りに天津欧文印消し

大正9年　分銅（青）銘ありはがきに林式の押印2。大正毛紙1・5銭貼りＬ１型機械印消し2。同分銅はがきに樺太型櫛型印と青島消し軍事郵便葉書。

大正１０年　田沢型2銭貼り（低料金）年賀状に櫛型印に分銅（青）銘ありはがきに櫛型印と朝鮮型印。また、分銅支那字入りはがきに支那長沙の欧文印消し。

大正11年　分銅（青）銘ありはがきに櫛型印に朝鮮型機械印。分銅銘ありはがき支那字入りに上海欧文印消しと青島櫛型印。

大正12年　分銅（青）銘ありはがきに朝鮮型櫛型印と同機械印。同一はがきに満州・奉天機械印。

大正13年　分銅（青）銘ありはがきに機械印に、震災はかき1・5銭貼り櫛型印。

大正14年　分銅（青）銘ありはかきに櫛型印と機械印。震災はがきに櫛型印に機械印。

大正15年　田沢型1・5銭）貼りに機械印。分銅銘ありはがきに長崎欧文機械印消し。

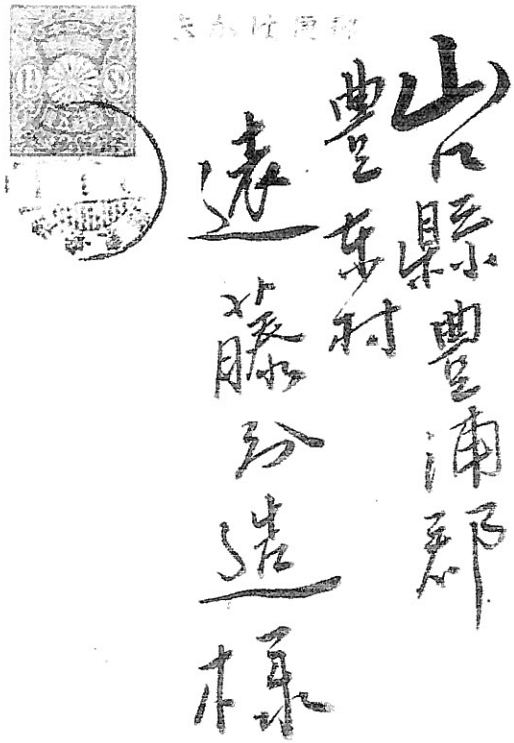
同一はがきに満・遼陽消し。大正16年　大正は15年で終わりだが、１６・１・１の機械印がありコレクションに加えた。

大正天皇は大正１５年12月25日崩御により昭和に改元されたが、25日以前に差し出したはがきにはすでに１６年の印字がされていたと思われる。

年　賀　状

分銅はがき

大正２年



謹賀中改暦之賀詞

御遠慮申上候

大正二年一月元旦

安東縣江岸

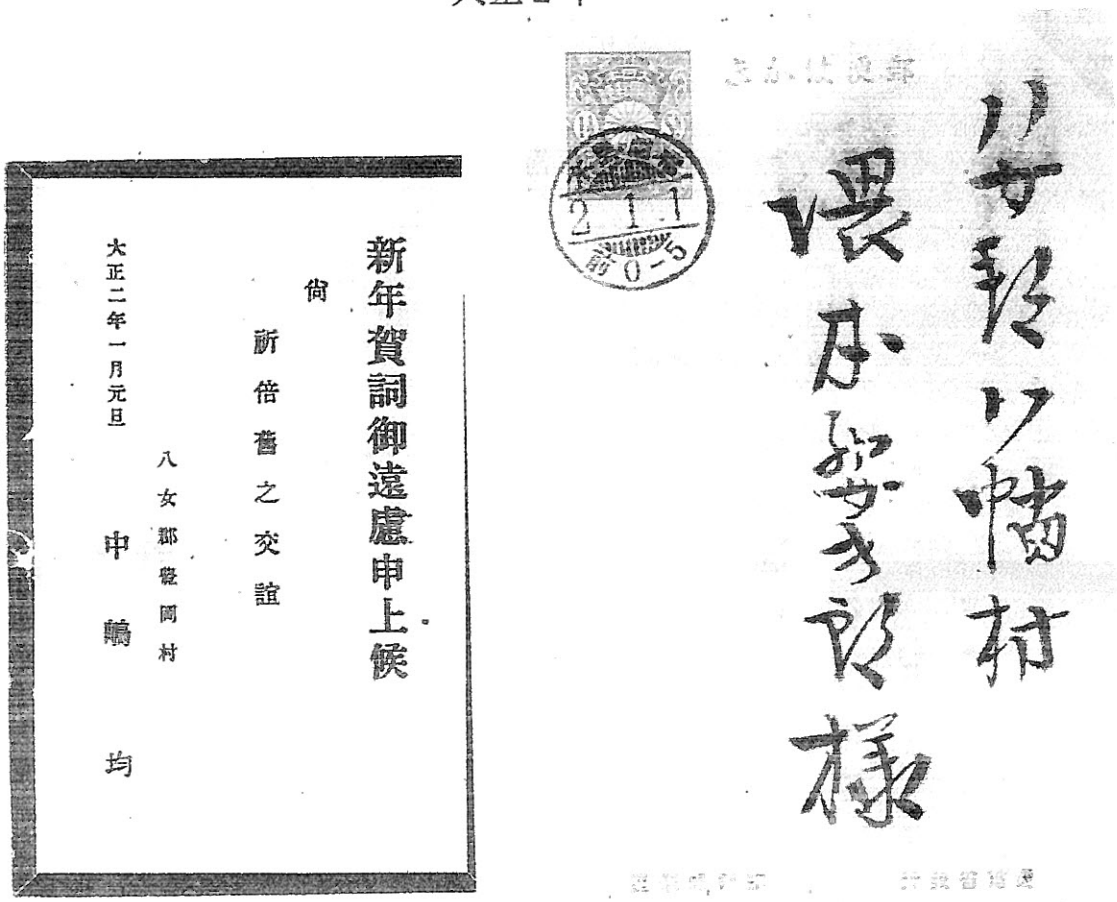
新谷音助

満・安東県消し

賀詞御遠慮

明治天皇崩御により国を挙げて喪に服し、賀状を遠慮した。

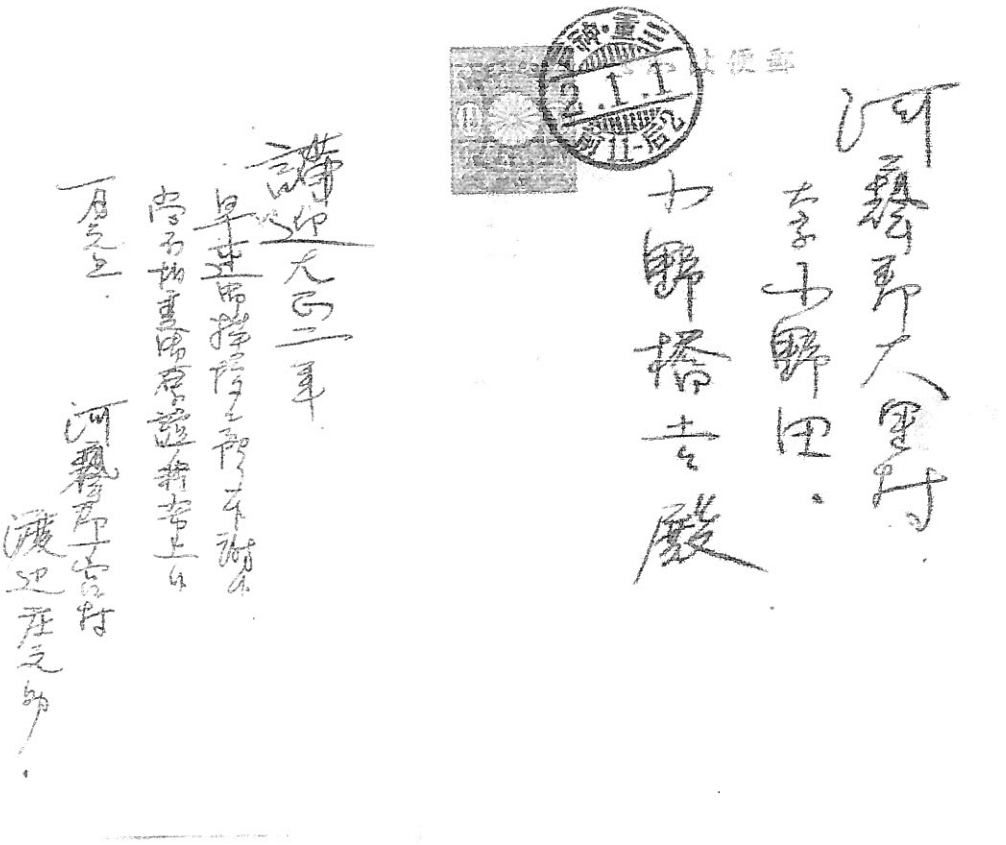
大正２年



年賀状

分銅銘あり

大正２年

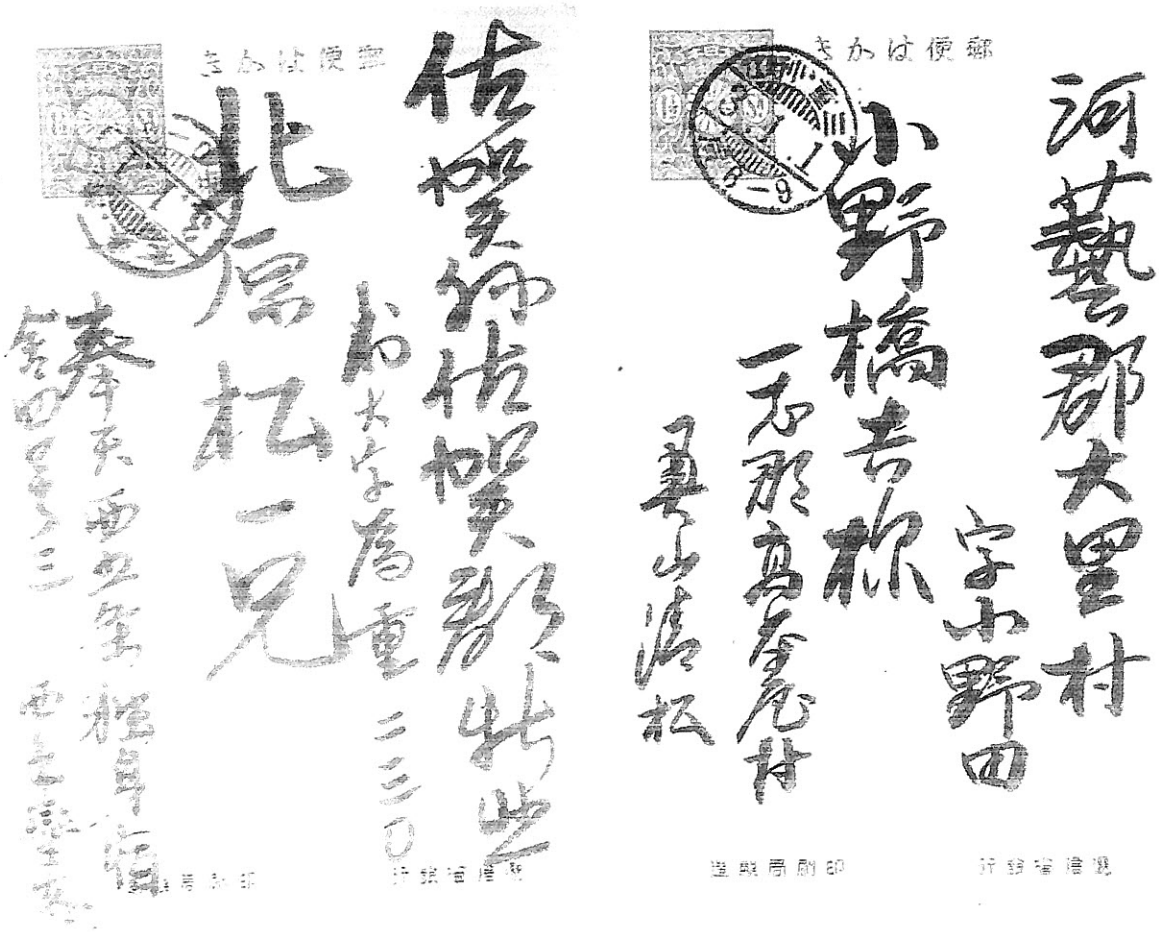


三重・神戸２．１．１

年　賀　状

分銅はがき

大正３年



大正３年